

◆運営委員・幹事

運営委員長	坂根 康秀	香蘭女子短期大学	理事長・学長
運営副委員長	大野 博之	国際学院埼玉短期大学	理事長・学長
運営委員	石田 憲久	青森中央短期大学	理事長
	片桐 武司	中部学院大学短期大学部	理事長
	加藤 映子	大阪女学院短期大学	学長
	鈴木 利定	群馬医療福祉大学短期大学部	理事長・学長
	滝川 嘉彦	名古屋文理大学短期大学部	理事長・学園長
	中野 正明	華頂短期大学	学長
	福井 一光	鎌倉女子大学短期大学部	理事長・学長
	吉田 幸滋	精華女子短期大学	理事長
			(五十音順)
幹事	小松 茂喜	日本私立短期大学協会	事務局長
	伊藤 洋明	私学研修福祉会	事務局長
			(順不同) (敬称略)

アルカディア市ヶ谷（私学会館）案内図

所在地：〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2番25号

TEL:03(3222)1006(直通)

JR・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線)市ヶ谷駅

(地下鉄の出口は1、A1エレベーター、A4のご利用が便利です。)



第44回 私立大学の教育・研究充実に関する研究会

◇短期大学の部◇

実施要項(オンライン開催)

＜第二次案内＞

主催：一般財団法人 私学研修福祉会
協力：日本私立短期大学協会

目的 この研究会は、私立短期大学がそれぞれの「建学の精神」に基づいて、各私立短期大学の特色を発揮するとともに、教育・研究の質の画期的充実を図る方途を探究することを目的とする。

研究課題

多様性の時代の学生支援

このところ短期大学に入学してくる学生の多様化がますます進んでいるように見受けられる。「課題の提出がままならない」学生や「授業に集中できない」学生、「約束の時間が守れない」学生などがいて、このような学生達は「困った学生」と考えられているかもしれない。しかし、彼らは実は「困っている学生」であり、合理的配慮が必要な学生かもしれない。

多様化が進む学生たちに学校として、授業担当者として、あるいは学生生活担当者・就職担当者としてどのような視点・支援が求められるのか。一緒に考える機会としていただきたい。

◆研究期間 << 令和4年11月8日(火) >>

◆会場 「アルカディア市ヶ谷」(私学会館)からライブ配信
[見逃し配信有]

URL：<https://www.skf.or.jp/jujitsutandai/>
視聴方法はホームページをご覧ください。



◆参加対象 私立短期大学の ○理事長・理事・学長・学科長・事務局長等
○教員・職員等(担当科目や職種の制限はありません)

◆研究方法 基調講演、事例発表、分科会

◆参加費 3,000円[見逃し配信込](参加者1名につき1件の申し込みをお願いします。
詳細はホームページにてご確認ください。)

※申込について

締切日：令和4年11月1日(火)

申込方法：私学研修福祉会研修事業部ホームページ <https://www.skf.or.jp/jujitsutandai/> から
所定のフォームに従ってお申込みください。

研究内容

会期：令和4年11月8日(火)
会場：私学会館からライブ配信

研究会テーマ 「多様性の時代の学生支援」

13:00~13:10 (10分)	開会挨拶	研究会運営委員長 香蘭女子短期大学理事長・学長	坂根 康 秀
13:10~14:10 (60分)	基調講演	『学び方の異なる学生の理解と支援』 一般社団法人日本LD学会 理事長 明治学院大学心理学部 教授 講師紹介:国際学院埼玉短期大学 理事長・学長 大野 博之	海 津 亜希子
14:10~14:20 (10分)	— 休憩 —		
14:20~15:10 (50分)	事例発表1	『学習や社会性の支援ニーズがある大学生への対応について』 高知大学大学院教職実践高度化専攻 教授	松 本 秀 彦
		講師紹介:大阪女学院短期大学 学長 加藤 映子	
15:10~15:20 (10分)	— 休憩 —		
15:20~16:10 (50分)	事例発表2	『YMCAの高校現場での合理的配慮の取組』 YMCA学院高等学校・ 大阪YMCA国際専門学校 校長	鍛治田 千 文
		講師紹介:大阪女学院短期大学 学長 加藤 映子	
16:10~16:25 (15分)	— 休憩 —		
16:25~17:30 (65分)	分科会	※研究会テーマについてグループに分かれてディスカッションを行います。 ※Zoomを使用した双方向配信となります。 (敬 称 略)	

※研究会の最新の内容につきましては、当会ホームページにてご確認ください。
※見逃し配信を予定しています。

講師プロフィール

基調講演

海津 亜希子 氏
かいづ あきこ

<略歴>

東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 学校教育学専攻 教育方法論講座修了博士(教育学)、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所主任研究員を経て現職、平成7年には文部科学省在外研究員としてテキサス大学オースティン校に赴任、明治学院大学心理学部教育発達学科教授(現在に至る)、令和4年6月より一般社団法人日本LD学会理事長就任

<その他>

公認心理師、臨床心理士、特別支援教育士スーパーバイザー、文部科学省「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」有識者会議特別協力者、独立行政法人大学入試センター 配慮事項部会委員等を務める
著書は「多層指導モデルMIM 読みのアセスメント・指導パッケージ」(2010, 学研教育みらい)、「学習障害(LD)のある小学生中学生高校生を支援する個別の指導計画作成と評価ハンドブック」(2017, 学研教育みらい)」等

事例発表1

松本 秀彦 氏
まつもと ひでひこ

<略歴>

平成14年4月 作新学院大学人間文化学部専任講師、平成19年4月 同 人間文化学部・大学院心理学研究科准教授、平成26年4月 高知大学総合教育センター特別修学支援室特任准教授、平成30年4月 高知大学大学院総合人間自然科学研究科専門職学位課程教職実践高度化専攻准教授、令和2年7月 同 教授(現在に至る)

<その他>

特別支援教育体制整備における専門家チーム員及び学校支援チーム員、高等学校通級指導教室アドバイザー、高知県教育委員会 ICT を活用した自立活動の効果的な指導の在り方検討会会長、特別支援教育士(S.E.N.S)の会高知支部会会長等

事例発表2

鍛治田 千文 氏
かじた ちふみ

<略歴>

昭和55年4月 大阪YMCA入職、平成13年4月 大阪土佐堀YMCAウエルネス所長就任、平成17年4月 大阪YMCA国際専門学校高等課程表現・コミュニケーション学科学科長就任、平成24年4月 同 副校長就任、5月 学校法人大阪YMCA評議員就任、平成27年4月 YMCA学院高等学校副校長就任、平成30年4月 同 校長就任(現在に至る)、学校法人大阪YMCA理事就任(現在に至る)、平成31年4月 大阪YMCA国際専門学校 校長就任(現在に至る)

<その他>

平成31年4月 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会理事就任、令和元年7月 文部科学省「新しい時代の高等学校教育の在り方を考えるワーキンググループ委員」(~令和3年2月)、令和2年7月 大阪府私学審議会委員就任(現在に至る)、令和4年7月 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会常任理事就任(現在に至る)
大阪府商工会議所主催 大阪サクヤヒメ賞受賞(平成28年12月)

講師紹介・司会

大野 博之 氏
おおの ひろゆき

<略歴>

昭和61年4月 国際学院埼玉短期大学講師。以降、助教授、教授、副学長を経て平成20年4月学長就任。現理事長・学長。公職においては、文部科学省中央教育審議会専門委員等を歴任、現在、文部科学省大学設置・学校法人審議会(学校法人分科会)委員、日本私立短期大学協会副会長、関東私立短期大学協会会長、埼玉県私立短期大学協会会長、一般社団法人全国栄養士養成施設協会副会長、一般財団法人大学・短期大学基準協会理事等、平成30年 藍綬褒章受章

加藤 映子 氏
かとう えいこ

<略歴>

大阪女学院短期大学卒業後、国際社会教育団体の職員として勤務。ボストン大学をMagna Cum Laudeでの成績で卒業、フルブライト奨学生としてハーバード大学に留学し、教育学博士号を取得。専門は言語習得とITを活用した教育。大阪女学院大学・大阪女学院短期大学学長。教育学博士。

<兼職>

大阪YMCA評議員、大阪私立短期大学協会副会長・理事・広報担当、日本私立短期大学協会常任理事、公益財団法人大阪府私学総連合会評議員、一般財団法人大学・短期大学基準協会評議員

<その他>

一般社団法人日本私立大学連盟理事長会議 幹事、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 大学機関別認証評価委員会専門委員、文部科学省 大学設置・学校法人審議会委員(学校法人分科会)